

沖縄県公立学校における働き方改革推進計画 「みんなの学校！ピースフル・プラン」

令和 7 年度

成果指標 3 集計結果

（時間外在校等時間に係る指標）

令和 8 年（2026年） 9 月



沖縄県教育委員会

【目 次】

令和7年度 沖縄県公立学校における働き方改革推進計画 成果指標の集計について	．．．．． P1
① 時間外在校等時間月80時間超の人数と割合に関する経年比較（令和1～7年度）	．．．．． P3
② 成果指標3【県立学校】：長時間勤務者の人数と割合（令和7年度）	．．．．． P5
③ 成果指標3【市町村立学校】：長時間勤務者の人数と割合（令和7年度）	．．．．． P7
④（参考）【県立学校】時間外在校等時間の平均時間と月45時間超の人数と割合	．．．．． P9
⑤ 総括	．．．．． P11

令和7年度 沖縄県公立学校における働き方改革推進計画 成果指標の集計について

1 成果指標について

沖縄県公立学校における働き方改革推進計画「みんなの学校！ピースフル・プラン」では、教職員一人一人の「3軸・6視点」の実感の向上を評価し、効果的な取組の検討等に活用するため、以下の3つの成果指標を設定する。

成果指標

- 成果指標1：学校評価（教職員対象）の評価項目に、下記の「3軸・6視点」に関する5項目を位置づけ、肯定的回答の割合を成果指標とする。
- 成果指標2：「3軸・6視点」に関する管理職アンケート調査を実施し、肯定的回答の割合を成果指標とする。
- 成果指標3：客観的計測による在校等時間を集計し、教職員の長時間勤務者の人数と割合を成果指標とする。

※今回公表分

「3軸・6視点」に関する5項目（学校評価に設定）	【回答選択肢例（4件法）】
・ 同僚・管理職との良好な人間関係の構築ができています。	A 当てはまる B ある程度当てはまる C あまり当てはまらない D 当てはまらない 肯定的回答（AとB）←
・ 個人の裁量（ゆとり）ある時間の確保ができています。	
・ 一人一人の児童生徒との信頼関係を深めることができています。	
・ より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実しています。	
・ 心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができています。	

目標値

- 成果指標1、成果指標2の目標値

全教職員の「3軸・6視点」の実感向上を目指して、令和8年度（2026年度）末までに肯定的回答の割合を80%以上とする。

- 成果指標3の目標値

※今回公表分

教職員の心身の健康を守るために、全教職員が時間外在校等時間上限（月45時間、年360時間）以内での勤務を目指して、

令和8年度（2026年度）末までに

- ・ 時間外在校等時間が月80時間を超える教職員をゼロとする。
- ・ 時間外在校等時間が月45時間、年360時間を超える教職員の年平均割合を令和5年度の50%以下とする。（県教育委員会設定部分）

※市町村教育委員会においては、地域の実情に応じて下線部分（県教育委員会設定部分）を変更可とする。

令和8年度までの目標値	月45時間超	年360時間超
県立高等学校	11.1%	21.7%
県立特別支援学校	1.15%	4.55%

令和8年度までの目標値	月45時間超	年360時間超
市町村立小学校	10.15%	10.8% ※
市町村立中学校	14.7%	13.3% ※

※ 令和5年度の年360時間超を集計できていない市町村教育委員会も含む数値から算出

2 集計について

(1) 集計期間 成果指標 3 : 令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

(2) 集計方法 成果指標 3 : 各学校で客観的計測した時間外在校等時間の集計結果

- ・各市町村立学校については、集計結果を各市町村教育委員会がとりまとめて県教育委員会へ報告
- ・県立学校については、県教育委員会が勤務管理システムから各学校の時間外在校等時間のデータを集約

(3) 対象者 成果指標 3 : 県内全公立学校の全教職員18,504名（学校基本調査における令和7年5月1日時点の人数）を対象

- ・市町村立学校 : 小学校 7,879名、中学校 4,478名
- ・県立学校 : 高等学校 4,108名、特別支援学校 2,039名

※ 休職者、産休者及び育児・介護休業者並びに産休代替者及び育児・介護休業代替者を含む。

※ 令和7年度学校基本調査（文部科学省）より、教員数及び事務職員数の合計で算出しているので、実際のデータ集計人数と一致しない場合があります。

・市町村立学校：教員、事務職員の合計人数

・県立高等学校：教員、事務職員、技術職員、実習助手、用務員の合計人数

・県立特別支援学校：教員、技術職員、事務職員、寄宿舎指導員、実習助手、養護職員、学校栄養職員、学校給食調理従業員、用務員の合計人数

※ 県立中学校：51名（勤務管理システムからの集計人数）

【参考：本県公立学校数（令和 7 年 5 月時点）】

○市町村立小学校数（休校除く）：256 校（うち小中併置校：27 校）

○県立高等学校数：59校

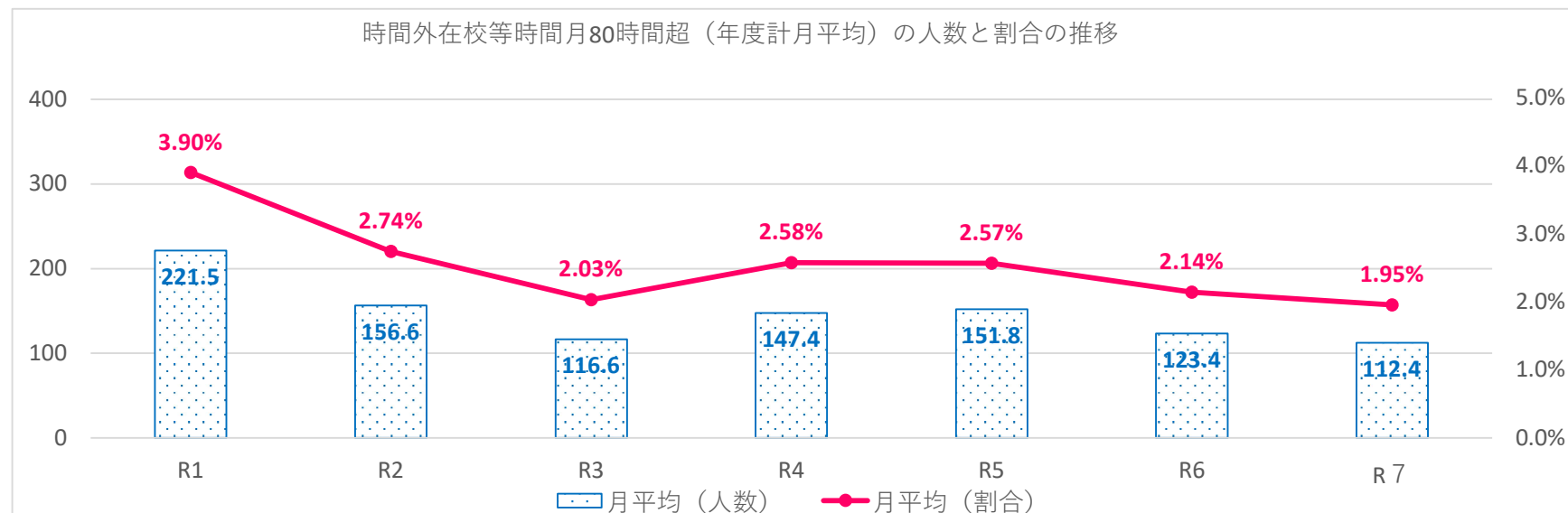
○県立中学校数：4 校

○市町村立中学校数（休校除く）：143 校（うち小中併置校：28 校）

○県立特別支援学校数：22校

① 時間外在校等時間月80時間超の人数と割合に関する経年比較（令和1～7年度）

○ 県立学校（高・特・中）



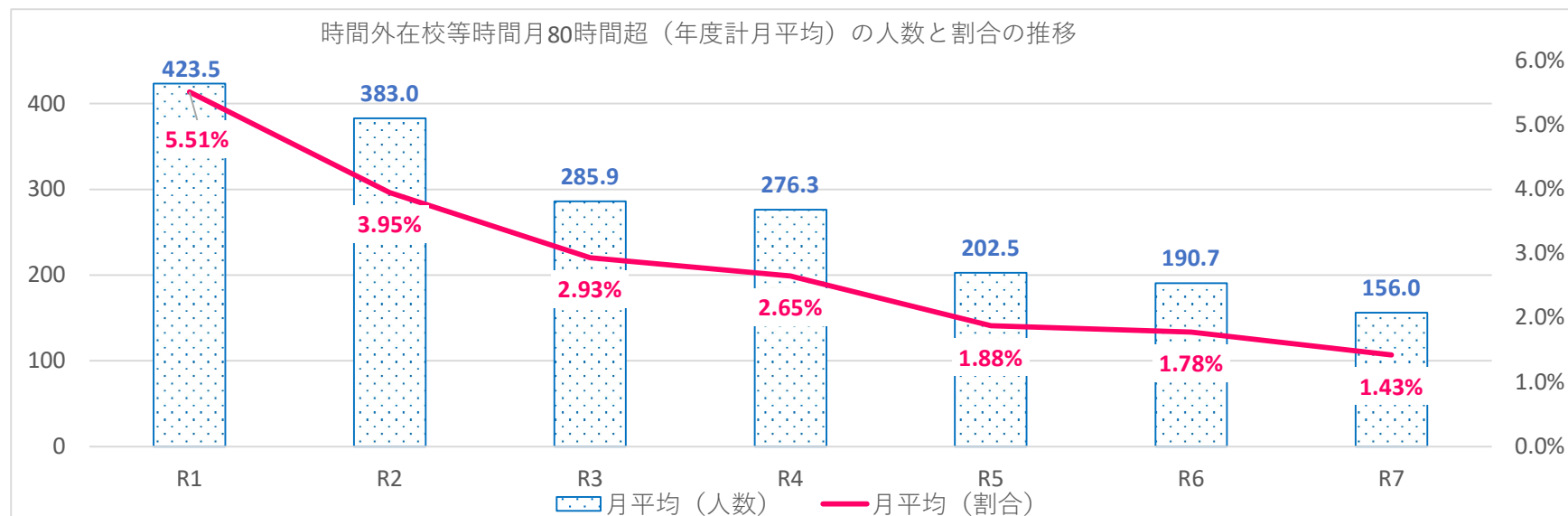
年度	県立学校 (高・特・中)	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			年度計 月平均
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
R1	80h以上人数 割合	258 4.50%	353 6.20%	294 5.20%	224 3.90%	76 1.30%	269 4.70%	310 5.40%	209 3.70%	198 3.50%	245 4.30%	155 2.70%	67 1.20%	221.5 3.90%
R2	80h以上人数 割合	12 0.20%	3 0.10%	253 4.40%	347 6.10%	11 0.20%	197 3.40%	359 6.30%	205 3.60%	189 3.30%	94 1.60%	63 1.10%	146 2.60%	156.6 2.74%
R3	80h以上人数 割合	230 4.00%	237 4.10%	25 0.40%	91 1.60%	10 0.20%	37 0.60%	258 4.50%	162 2.80%	171 3.00%	21 0.40%	49 0.90%	108 1.90%	116.6 2.03%
R4	80h以上人数 割合	200 3.46%	250 4.33%	142 2.46%	161 2.80%	31 0.54%	158 2.73%	262 4.54%	121 2.10%	134 2.32%	113 1.96%	75 1.30%	122 2.11%	147.4 2.58%
R5	80h以上人数 割合	195 3.29%	307 5.18%	141 2.38%	207 3.50%	50 0.85%	197 3.33%	220 3.73%	97 1.64%	115 1.95%	86 1.46%	79 1.34%	128 2.17%	151.8 2.57%
R6	80h超人数 割合	158 2.77%	235 4.05%	154 2.66%	137 2.37%	35 0.61%	129 2.23%	173 3.00%	110 1.91%	100 1.73%	104 1.81%	62 1.08%	84 1.46%	123.4 2.14%
R7	80h超人数 割合	156 2.75%	247 4.28%	142 2.46%	134 2.33%	45 0.78%	92 1.59%	173 3.00%	65 1.13%	80 1.39%	73 1.27%	61 1.06%	81 1.41%	112.4 1.95%

※「割合」は、調査対象県立学校教職員に対する構成比率（令和7年度調査対象県立学校教職員数：5,754.8名（年度計月平均））

※ 令和6年度から80h超で集計

① 時間外在校等時間月80時間超の人数と割合に関する経年比較（令和1～7年度）

○ 市町村立学校（小・中）



市町村立学校 年度 (小・中)		第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			年度計 月平均
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
R1	80h以上人数	594	628	606	353	52	363	686	512	414	368	303	203	423.5
	割合	9.16%	9.65%	9.16%	5.15%	0.65%	5.40%	7.61%	5.61%	4.42%	4.05%	3.21%	2.10%	5.51%
R2	80h以上人数	76	60	721	612	30	275	707	428	368	248	234	837	383.0
	割合	0.81%	0.63%	7.65%	6.48%	0.32%	2.91%	7.45%	4.54%	3.65%	2.44%	2.30%	8.24%	3.95%
R3	80h以上人数	750	379	132	292	5	127	495	330	235	80	118	488	285.9
	割合	7.69%	3.90%	1.36%	3.00%	0.05%	1.31%	5.05%	3.38%	2.42%	0.82%	1.21%	5.02%	2.93%
R4	80h以上人数	573	348	527	172	25	332	299	289	121	142	145	342	276.3
	割合	5.54%	3.38%	5.09%	1.66%	0.24%	3.20%	2.83%	2.74%	1.15%	1.35%	1.39%	3.28%	2.65%
R5	80h以上人数	409	327	273	124	9	240	275	226	95	124	128	200	202.5
	割合	3.82%	3.06%	2.55%	1.16%	0.08%	2.23%	2.58%	1.88%	0.90%	1.17%	1.21%	1.91%	1.88%
R6	80h超人数	447	425	263	108	15	131	290	166	98	108	99	138	190.7
	割合	4.15%	3.95%	2.45%	1.01%	0.14%	1.22%	2.71%	1.55%	0.92%	1.01%	0.93%	1.31%	1.78%
R7	80h超人数	372	284	237	102	19	125	238	95	106	102	89	103	156.0
	割合	3.39%	2.58%	2.16%	0.93%	0.17%	1.15%	2.17%	0.87%	0.97%	0.93%	0.81%	0.95%	1.43%

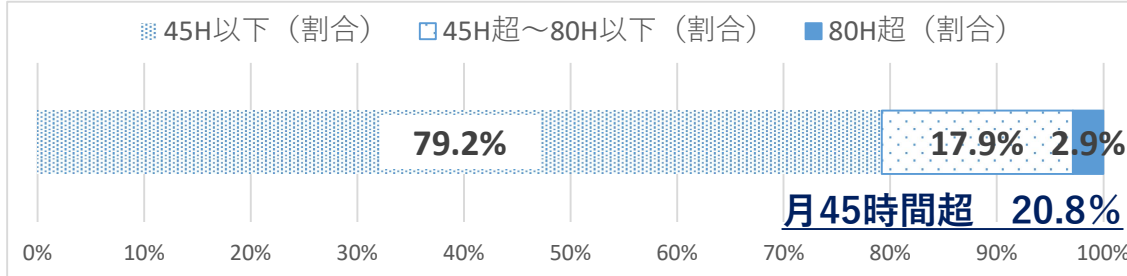
※「割合」は、調査対象市町村立学校教職員に対する構成比率（令和7年度調査対象市町村立学校教職員数：10,935.0名（年度計月平均））

※ 令和6年度から80h超で集計

② 成果指標3【県立学校】：長時間勤務者の人数と割合（令和7年度）

○ 県立高等学校

・ 時間外在校等時間が月45時間超の教職員の割合



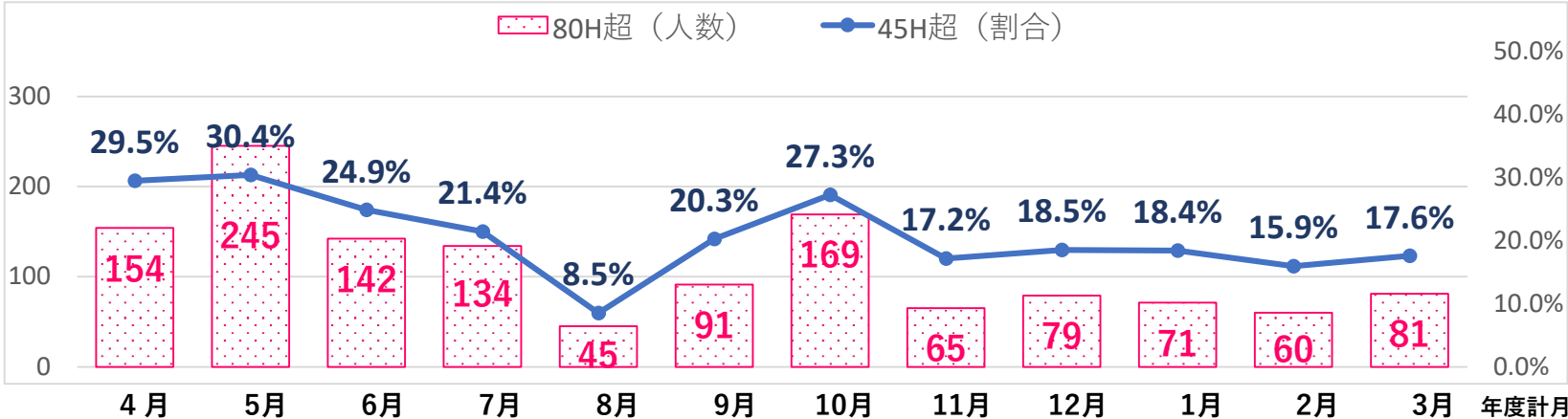
※端数処理により、合計が100%にならない場合があります。

月80・45時間超：年度計月平均値

年360時間超：年360時間超の教職員の割合

	令和6年度 割合	令和7年度 割合	令和8年度 目標値	目標値との差
月80時間超	3.20%	2.86%	0%	▲ 2.86pt
月45時間超	21.3%	20.8%	11.1%	▲ 9.7pt
年360時間超	42.3%	41.2%	21.7%	▲ 19.5pt

（参考）月別の月80時間超勤務者の人数と月45時間超勤務者の割合



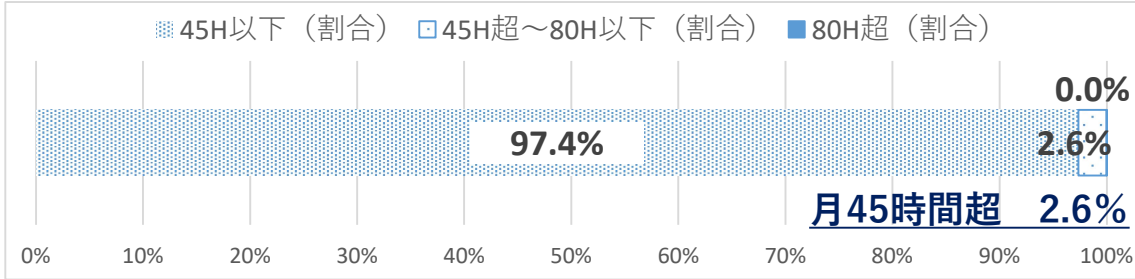
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計月平均
45H超（人数）	1,133	1,184	970	833	332	791	1,062	669	721	716	621	685	809.8
（80H超（人数））	（154）	（245）	（142）	（134）	（45）	（91）	（169）	（65）	（79）	（71）	（60）	（81）	（111.3）
45H超（割合）	29.5%	30.4%	24.9%	21.4%	8.5%	20.3%	27.3%	17.2%	18.5%	18.4%	15.9%	17.6%	20.8%
（80H超（割合））	（4.0%）	（6.3%）	（3.6%）	（3.4%）	（1.2%）	（2.3%）	（4.3%）	（1.7%）	（2.0%）	（1.8%）	（1.5%）	（2.1%）	（2.9%）
対象職員（人数）	3,842	3,893	3,902	3,890	3,897	3,904	3,897	3,899	3,897	3,892	3,894	3,899	3,892.2

※ 45H超は、80H超を含む。

2 成果指標3【県立学校】：長時間勤務者の人数と割合（令和7年度）

○ 県立特別支援学校

・ 時間外在校等時間が月45時間超の教職員の割合



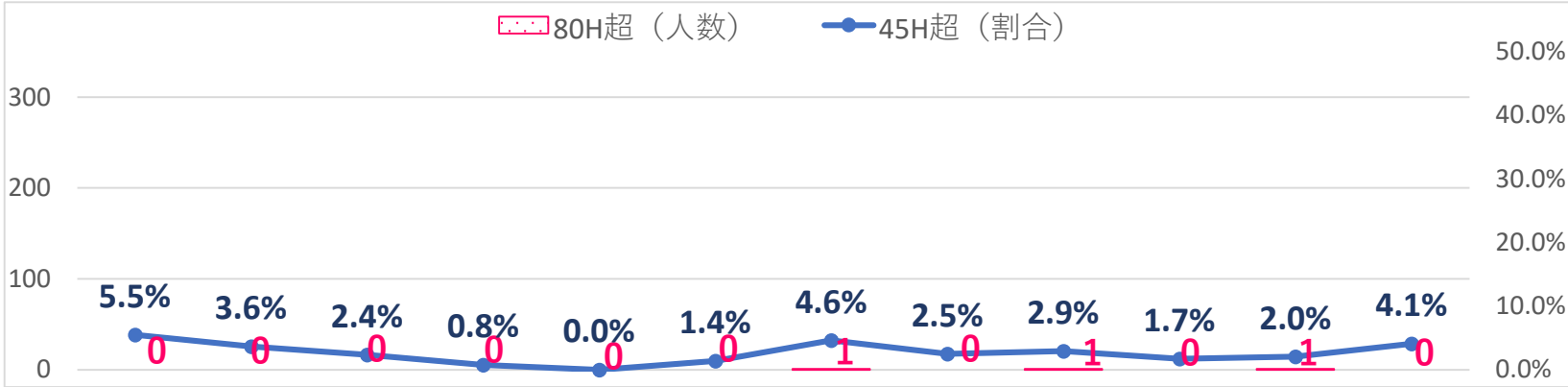
※端数処理により、合計が100%にならない場合があります。

月80・45時間超：年度計月平均値

年360時間超：年360時間超の教職員の割合

	令和6年度 割合	令和7年度 割合	令和8年度 目標値	目標値との差
月80時間超	0.00%	0.01%	0%	▲ 0.01pt
月45時間超	2.3%	2.6%	1.15%	▲ 1.45pt
年360時間超	8.0%	10.3%	4.55%	▲ 5.75pt

（参考）月別の月80時間超勤務者の人数と月45時間超勤務者の割合



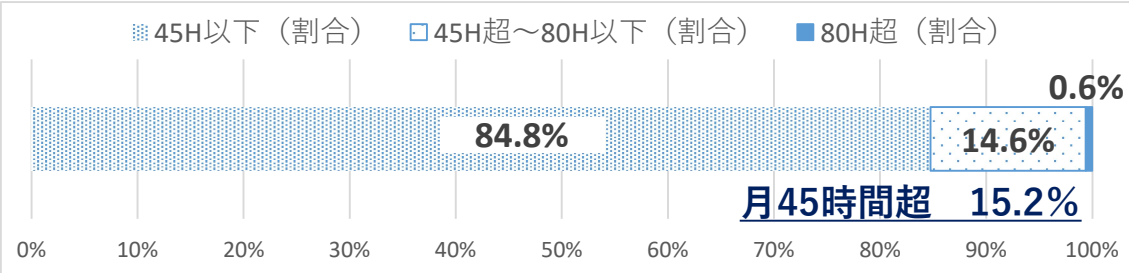
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計月平均
45H超（人数）	97	66	43	14	0	25	84	45	53	31	37	74	47.4
（80H超（人数））	（0）	（0）	（0）	（0）	（0）	（0）	（1）	（0）	（1）	（0）	（1）	（0）	（0.3）
45H超（割合）	5.5%	3.6%	2.4%	0.8%	0.0%	1.4%	4.6%	2.5%	2.9%	1.7%	2.0%	4.1%	2.6%
（80H超（割合））	（0.0%）	（0.0%）	（0.0%）	（0.0%）	（0.0%）	（0.0%）	（0.1%）	（0.0%）	（0.1%）	（0.0%）	（0.1%）	（0.0%）	（0.0%）
対象職員（人数）	1,767	1,819	1,819	1,808	1,800	1,815	1,817	1,811	1,805	1,810	1,806	1,803	1,806.7

※ 45H超は、80H超を含む。

③ 成果指標 3 【市町村立学校】：長時間勤務者の人数と割合（令和7年度）

○ 市町村立小学校

・ 時間外在校等時間が月45時間超の教職員の割合



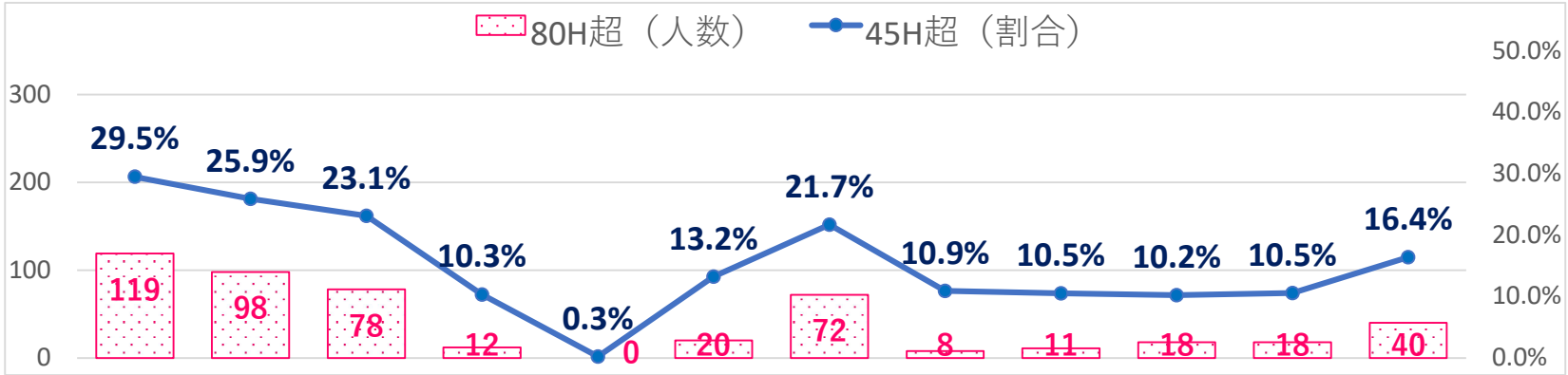
※端数処理により、合計が100%にならない場合があります。

月80・45時間超：年度計月平均値

年360時間超：年360時間超の教職員の割合

	令和6年度 割合	令和7年度 割合	令和8年度 目標値	目標値との差
月80時間超	0.83%	0.59%	0%	▲ 0.59pt
月45時間超	18.4%	15.2%	10.15%	▲ 5.05pt
年360時間超	32.4%	29.1%	10.8%	▲ 18.3pt

（参考）月別の月80時間超勤務者の人数と月45時間超勤務者の割合



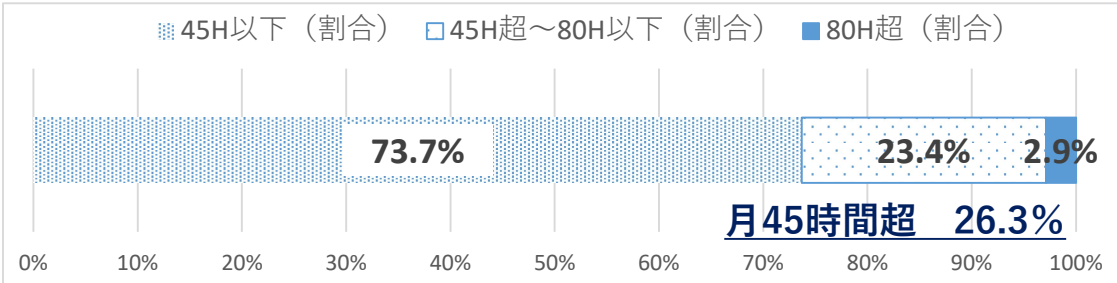
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計月平均
45H超 (人数)	2,059	1,805	1,603	715	18	908	1,511	760	729	709	730	1,135	1,056.8
(80H超 (人数))	(119)	(98)	(78)	(12)	(0)	(20)	(72)	(8)	(11)	(18)	(18)	(40)	(41.2)
45H超 (割合)	29.5%	25.9%	23.1%	10.3%	0.3%	13.2%	21.7%	10.9%	10.5%	10.2%	10.5%	16.4%	15.2%
(80H超 (割合))	(1.7%)	(1.4%)	(1.1%)	(0.2%)	(0.0%)	(0.3%)	(1.0%)	(0.1%)	(0.2%)	(0.3%)	(0.3%)	(0.6%)	(0.6%)
対象職員(人数)	6,983	6,978	6,934	6,914	6,888	6,871	6,970	6,952	6,940	6,931	6,922	6,919	6,928.0

※ 45H超は、80H超を含む。

③ 成果指標3【市町村立学校】：長時間勤務者の人数と割合（令和7年度）

○ 市町村立中学校

・ 時間外在校等時間が月45時間超の教職員の割合



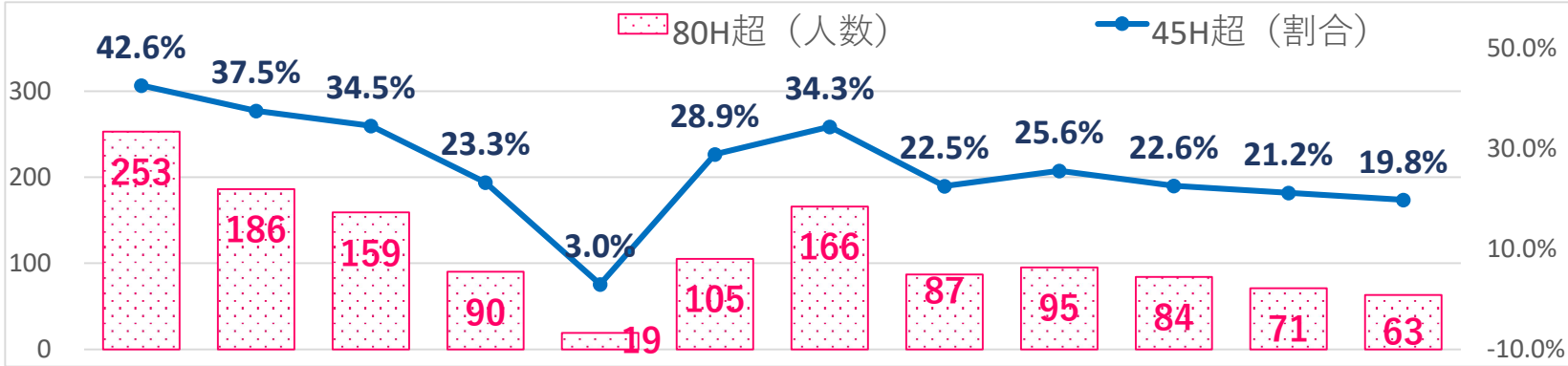
※端数処理により、合計が100%にならない場合があります。

月80・45時間超：年度計月平均値

年360時間超：年360時間超の教職員の割合

	令和6年度 割合	令和7年度 割合	令和8年度 目標値	目標値との差
月80時間超	3.45%	2.87%	0%	▲ 2.87pt
月45時間超	28.2%	26.3%	14.7%	▲ 11.6pt
年360時間超	45.8%	40.9%	13.3%	▲ 27.6pt

（参考）月別の月80時間超勤務者の人数と月45時間超勤務者の割合



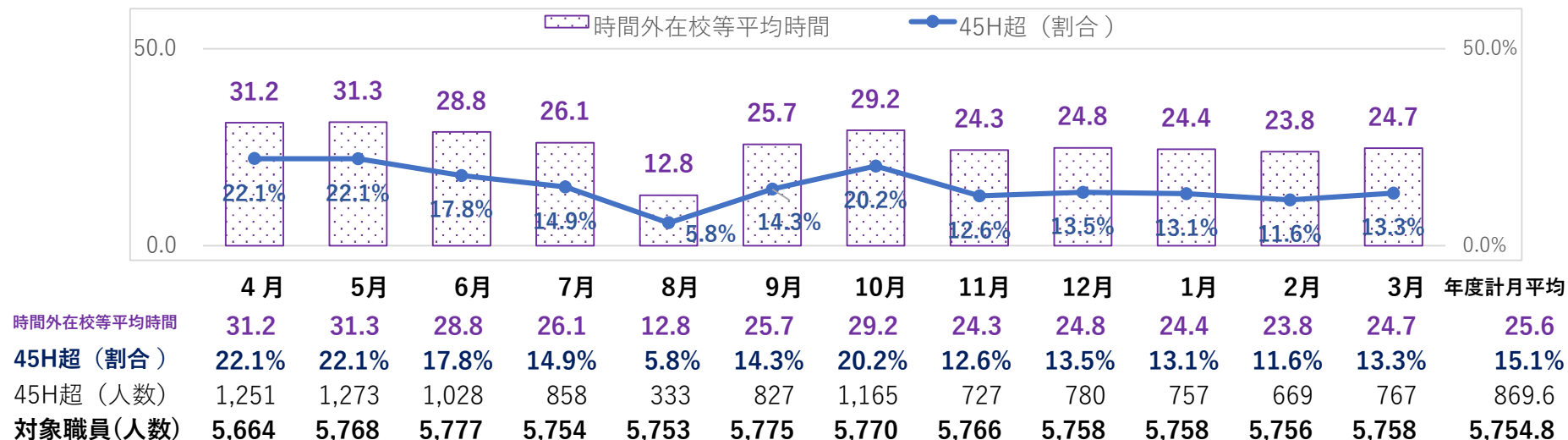
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計月平均
45H超 (人数)	1,705	1,510	1,385	933	119	1,152	1,376	900	1,024	905	848	780	1,053.1
(80H超 (人数))	(253)	(186)	(159)	(90)	(19)	(105)	(166)	(87)	(95)	(84)	(71)	(63)	(114.8)
45H超 (割合)	42.6%	37.5%	34.5%	23.3%	3.0%	28.9%	34.3%	22.5%	25.6%	22.6%	21.2%	19.8%	26.3%
(80H超 (割合))	(6.3%)	(4.6%)	(4.0%)	(2.2%)	(0.5%)	(2.6%)	(4.1%)	(2.2%)	(2.4%)	(2.1%)	(1.8%)	(1.6%)	(2.9%)
対象職員(人数)	4,002	4,025	4,014	4,011	4,010	3,992	4,007	4,001	4,002	4,006	4,000	3,948	4,009.0

※ 45H超は、80H超を含む。

4 (参考) 【県立学校】時間外在校等時間の平均時間と月45時間超の人数と割合

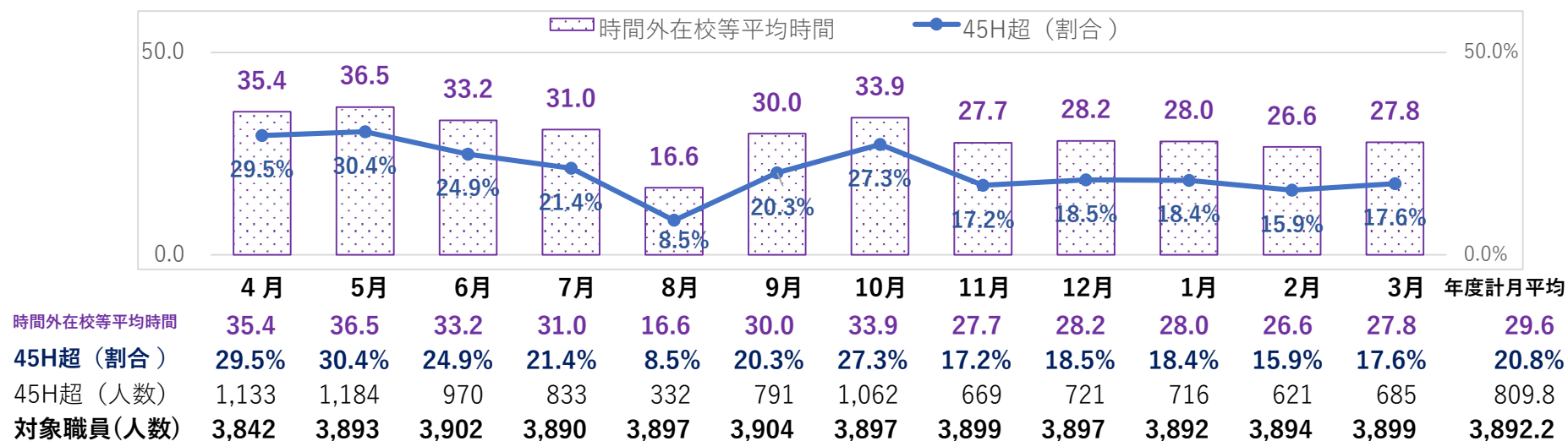
● 県立学校（高・特・中）

・1箇月時間外在校等時間平均 **25.6 時間**



○ 県立高等学校

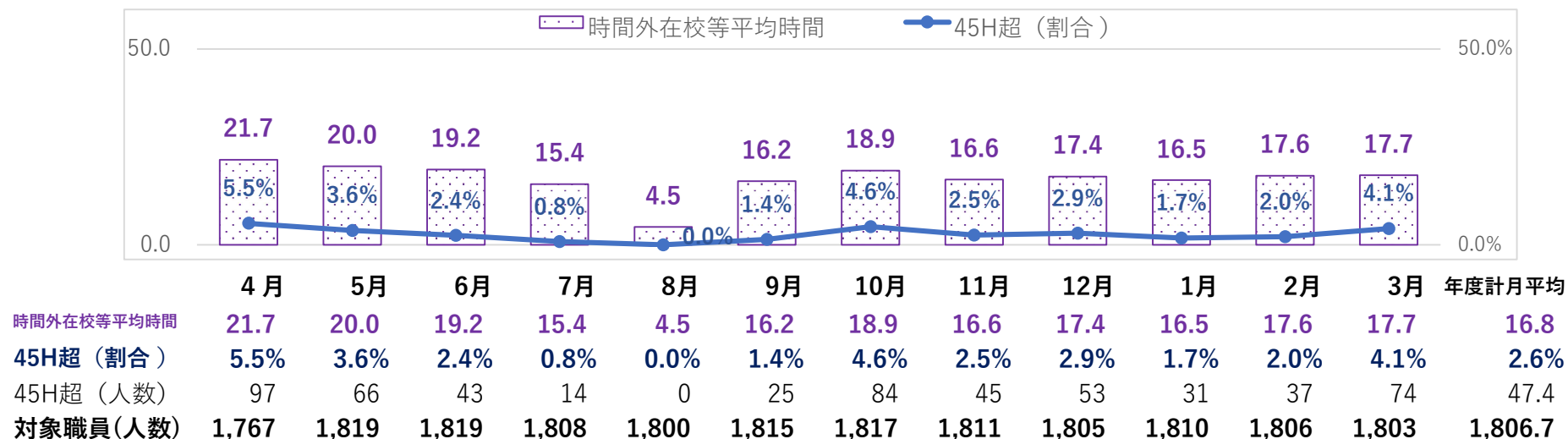
・1箇月時間外在校等時間平均 **29.6 時間**



4（参考）【県立学校】時間外在校等時間の平均時間と月45時間超の人数と割合

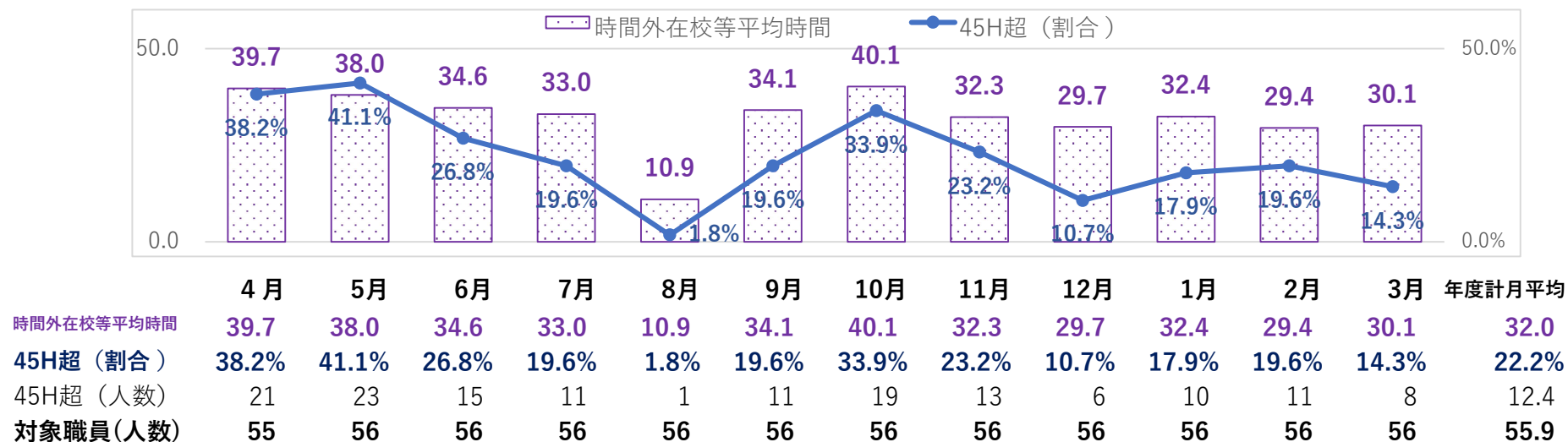
○ 県立特別支援学校

・1箇月時間外在校等時間平均 **16.8 時間**



○ 県立中学校

・1箇月時間外在校等時間平均 **32.0 時間**



5 総括

◆ 県立学校（高・特・中）の状況

- ・ 時間外在校等時間月80時間超の月平均人数は、令和元年度221.5人から令和7年度112.4人の49.3%減となった。
- ・ 時間外在校等時間月80時間超の職員全体に占める割合は、令和元年度3.90%から令和7年度1.95%と1.95pt減となり、コロナ禍の期間もあったが、減少傾向にある。

○ 県立高等学校の状況

- ・ 時間外在校等時間が月45時間以下となった職員の割合は約8割（79.2%・前年度78.7%）となっている。
- ・ 時間外在校等時間が月45時間超、月80時間超、年360時間超の職員の割合は、全て前年度より減少しているが、目標値の達成に向けて、教員業務支援員や部活動指導員等外部人材を活用するほか、教育DXの推進等、国の動向も踏まえながら日常業務の負担軽減に向け、更なる取組の推進が必要である。
- ・ 時間外在校等時間が月45時間超となった職員の割合は、4月、5月及び10月に高くなる傾向が見られ、その要因として、新年度準備や学校行事、部活動の大会等が考えられる。
- ・ 時間外在校等時間が月80時間超となった主な理由は「部活動指導」であり、次いで「授業準備」「事務・報告書作成」が挙げられている。

○ 県立特別支援学校の状況

- ・ 時間外在校等時間が月45時間以下となった職員の割合は9割以上（97.4%・前年度97.7%）となっている。
- ・ 時間外在校等時間が月80時間超となった職員は0.01%であり、ほぼ目標値を達成している。月45時間超、年360時間超の職員の割合も、他の校種に比べると低くなっている。
- ・ 前年度と比較し、在学者数が増加していることもあり、時間外在校等時間が年360時間超の職員の割合及び月45時間超の職員の割合は、微増している。目標値の達成に向けては、教育環境の整備や教員業務支援員等外部人材の活用を推進するほか、教育DXの推進等、国の動向も踏まえた更なる取組の推進が必要である。
- ・ 月45時間超となった職員の割合は、4月、10月及び3月に若干高くなる傾向が見られ、その要因として、新年度準備や学校行事等が考えられる。

5 総括

◆ 市町村立学校（小・中）の状況

- ・ 時間外在校等時間月80時間超の月平均人数は、令和元年度423.5人から令和7年度156.0人の63.2%減となった。
- ・ 時間外在校等時間月80時間超の職員全体に占める割合は、令和元年度5.51%から令和7年度1.43%と4.08pt減となり、コロナ禍の期間もあったが、継続して減少傾向にある。

○ 市町村立小学校の状況

- ・ 時間外在校等時間が月45時間以下となった職員の割合は8割5分程度（84.8%、前年度81.6%）となっている。
- ・ 時間外在校等時間が月45時間超、月80時間超、年360時間超の割合とも、前年度より減少しているが、目標値の達成に向けては、教員業務支援員等、外部人材を活用するほか、教育DXの推進等、国の動向も踏まえながら日常業務の負担軽減に向け、更なる取組の推進が必要である。
- ・ 時間外在校等時間が月45時間超となった職員の割合は、4～6月及び10月に高くなる傾向があり、その要因として、新年度準備や学校行事等が考えられる。
- ・ 時間外在校等時間が月80時間超となった主な理由は「授業準備」であり、次いで「事務・報告書作成」「評価・成績処理」が挙げられている。

○ 市町村立中学校の状況

- ・ 時間外在校等時間が月45時間以下となった職員の割合は約7割（73.7%、昨年度71.8%）となった。
- ・ 時間外在校等時間が月45時間超、月80時間超、年360時間超の割合とも、前年度より減少しているが、目標値の達成に向けては、教員業務支援員等、外部人材を活用するほか、部活動の地域展開や教育DXの推進等、国の動向も踏まえ、日常業務の負担軽減に向け、更なる取組の推進が必要である。
- ・ 時間外在校等時間が月45時間超となった職員の割合は、4～6月及び10月に高くなる傾向があり、その要因として、新年度準備や学校行事、部活動の大会等が考えられる。
- ・ 時間外在校等時間が月80時間超となった主な理由は「部活動指導」であり、次いで「授業準備」「事務・報告書作成」が挙げられている。

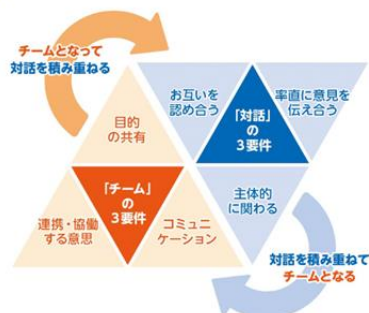
5 総括

◆ 今後の取組

- 働き方改革のこれまでの取組の推進や教職員の意識向上等により、一般に「過労死ライン」と呼ばれる時間外在校等時間「月80時間超」を中心に改善傾向にある。一方、「年360時間超」については、引き続き、改善の余地が大きく残されており、今後は、教員業務支援員等の外部人材を活用するほか、部活動の地域展開や教育DXの推進等、国の動向も踏まえながら、日常業務の負担軽減に向け、更なる取組の推進が必要である。
- 特に、目標達成に向けて、推進のキーワード「チームと対話」を掲げ、次の4つに取り組んでいく。
 - ✓ 時間外在校等時間の客観的な計測と計測により把握した内容に基づく業務改善サイクルの推進
 - ☞ 長時間勤務者の業務量削減等に向けた管理職と職員との面談や対話の場を設定し、業務改善につなげる。
 - ✓ 働き方改革とメンタルヘルス対策の一体的な取組の推進
 - ☞ 業務上のストレス要因を軽減するとともに、同僚の不調に早めに気づき、対処につなげる「チームケア」を実践する。
 - ✓ 保護者や地域との連携・協働体制の構築の推進
 - ☞ 対話を通してチームとなり、対話を積み重ね、教育環境の向上につなげる。
 - ✓ 長時間勤務の更なる縮減に向けた環境整備の推進
 - ☞ 「私たちのピースリスト2023」等を活用した具体的取組の検討・実践を行う。

【参考】推進のキーワード「チームと対話」について

『チームと対話』とは 『チームと対話』の3要件



✓ 全ての関係者が連携・協働する「チーム」となり、働き方改革の取組に一人一人が主体的に関わり、お互いに認め合い、率直に意見を伝え合うこと、「対話」による、子供たちの教育環境の充実が大切です。

✓ 「チームと対話」を通じて、子供たち一人一人の豊かな学びを実現し、子供たちへのより良い教育を目指していきましょう！



『チームと対話』で連携・協働

それぞれの役割と責任を、お互いに

- ✓ 理解・尊重する
- ✓ 率直に意見を伝え合う
- ✓ それぞれの「強み」を発揮する

※学校における働き方改革に、特効薬はない。

解決に時間を要する取組も進めながら… ⇒やれることから取り組む！

※学校だけ・教育委員会だけで完結しない。

それぞれの立場で各々の役割・責任にもとづいて ⇒自分事として取り組む！

